

幸せを実感しながら 暮らしていける

まちづくりに **110** 億円

お知らせします！

**まちの行財政 2025**

岩手県葛巻町 令和7年度予算説明書

# 発行にあたって



岩手県 葛巻町長  
鈴木重男

町民の皆様におかれましては、日ごろから町政の各分野におきまして深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年は葛巻町が町政 70 周年を迎える節目の年であり、町では記念式典をはじめ、まちづくりの機運を高める様々なイベントや事業の実施を予定しております。また、平成 30 年から整備事業を進めてきた複合庁舎「くずま〜る」の全施設が完成を迎える年でもあり、町が一体となり、まちづくりの新たな一歩を踏み出してまいります。

現在の社会を取り巻く状況を見ますと、若者世代を中心とした東京一極集中の流れが続いており、地方においては担い手不足が顕著となっている状況であります。

こうした中、国においては今後の重要施策として「地方創生 2.0」を掲げ、地域の持つ潜在力を最大限引き出しながら新たな人の流れを生み出し、多極分散型の多様な経済社会の構築を目指すことが示されております。町においても、こうした国の施策を有効に活用しながら、若者が夢と希望を持ち、幸せを実感しながら暮らしていけるまちづくりを進めてまいります。

また、三陸沿岸道路から東北自動車道へ接続する新たな高規格道路である「北岩手・北三陸横断道路」の整備に向け、当町を含む 19 市町村において道路整備期成同盟会を結成し、その実現に向け鋭意取り組んでおります。こうした新たな基盤施設の整備により、町の持つ農業生産力、エネルギー生産力、観光資源など、潜在的な力を最大限に活かして町を活性化させ、若者の定着、移住者の確保につなげてまいりたいと考えております。

社会変革はこれまで以上に加速しておりますが、こうした大きな変革を好機と捉え、迅速な判断と対応により町の各施策を着実に推進してまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 目次

発行にあたって	1 p
まちの予算の状況	2 p
総合計画体系別の予算の状況	6 p
まちの森林環境譲与税の状況	20 p
まちの決算の状況	21 p
まちの財務書類	28 p
まちの行政組織	30 p

## ■予算額（令和6年度対比）

令和7年度の一般会計予算は、昨年度に引き続き、庁舎等建設事業に係る予算などを計上し、予算総額は67億5,229万円（前年度比6.3%減）となりました。特別会計は、2つの会計の合計が8億7,571万円で、一般会計と2つの特別会計の合計額は、76億2,800万円（前年度比5.7%減）となっています。

企業会計は、病院事業会計が支出ベースで13億7,974万円（前年度比4.4%減）、水道事業会計が支出ベースで6億2,314万円（前年度比11.2%増）、下水道事業会計が3億1,669万円（前年度比1.1%減）となっています。

### 一般会計・特別会計

会計名	令和7年度	令和6年度	増減額（伸率）
一般会計	67億5,229万円	72億812万円	△4億5,583万円（△6.3%）
特別会計	8億7,571万円	8億8,330万円	△759万円（△0.9%）
国民健康保険事業	7億7,753万円	7億9,070万円	△1,317万円（△1.7%）
後期高齢者医療事業	9,818万円	9,260万円	558万円（6.0%）
合計	76億2,800万円	80億9,142万円	△4億6,342万円（△5.7%）

### 企業会計

会計名	令和7年度	令和6年度	増減額（伸率）		
病院事業会計	収益的収支	収入	11億4,186万円	10億9,759万円	4,427万円（4.0%）
		支出	12億2,482万円	11億9,665万円	2,817万円（2.4%）
	資本的収支	収入	8,840万円	1億8,445万円	△9,605万円（△52.1%）
		支出	1億5,492万円	2億4,652万円	△9,160万円（△37.2%）
水道事業会計	収益的収支	収入	1億7,639万円	1億5,985万円	1,654万円（10.3%）
		支出	2億208万円	2億95万円	113万円（0.6%）
	資本的収支	収入	3億6,970万円	3億76万円	6,894万円（22.9%）
		支出	4億2,106万円	3億5,935万円	6,171万円（17.2%）
下水道事業会計	収益的収支	収入	1億5,858万円	1億6,190万円	△332万円（△2.1%）
		支出	1億5,683万円	1億5,957万円	△274万円（△1.7%）
	資本的収支	収入	1億4,048万円	2億3,422万円	△9,374万円（△40.0%）
		支出	1億5,986万円	1億6,055万円	△69万円（△0.4%）
支出額の合計		23億1,957万円	23億2,359万円	△402万円（△0.2%）	
前年度からの繰越		10億6,627万円	5億1,723万円	5億4,904万円（106.2%）	
総合計		110億1,384万円	109億3,224万円	8,160万円（0.7%）	

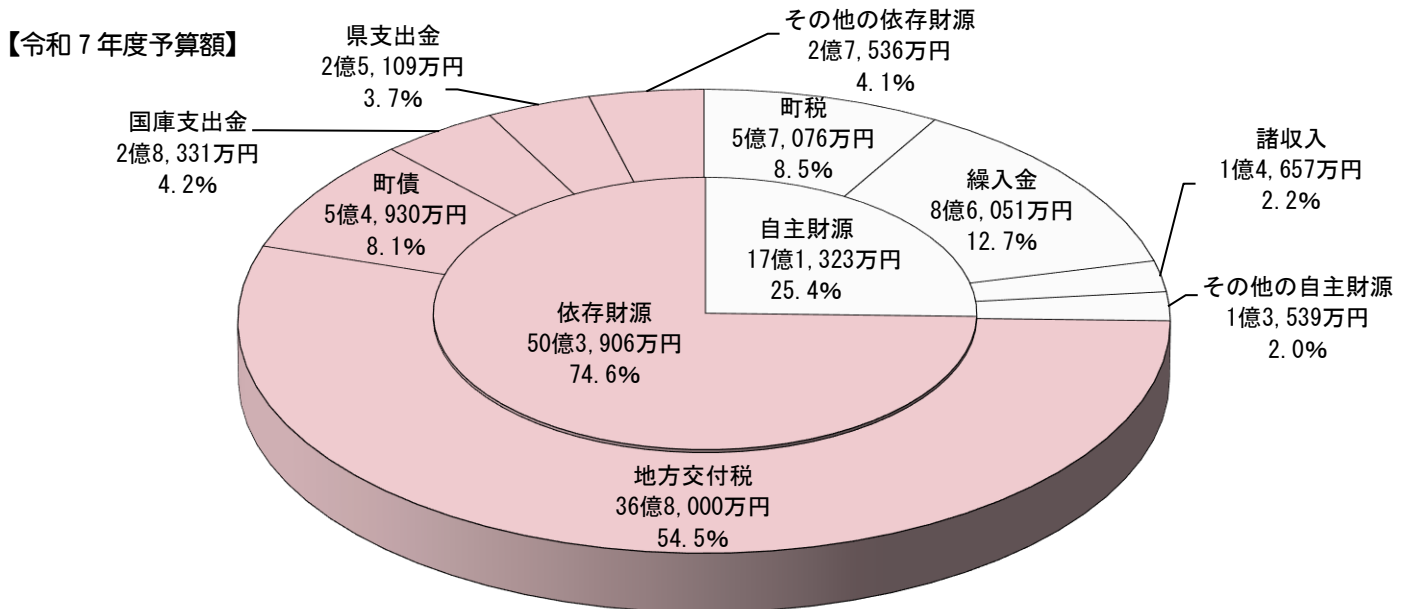
※ 収益的収支は、経営活動によって発生する収入と支出のことをいい、資本的収支は、建物や施設の建設などに係る収入と支出のことをいいます。

# ■一般会計 歳入 (入ってくるお金)

歳入は、その性質により自主財源（町が自力で収入できるお金で【税金、使用料、負担金、基金からの繰り入れ】など）と依存財源（国・県などから交付、割り当てられるお金で【地方交付税、国庫・県支出金、各種交付金】など）に分かれます。

令和7年度予算の自主財源割合は25.4%で、令和6年度の23.9%に比べ1.5ポイント増加しています。

項 目		令和7年度予算額 (構成比率)	令和6年度予算額 (構成比率)	摘 要
自主財源	町 税	5億7,076万円 ( 8.5%)	5億9,329万円 ( 8.2%)	町民の皆さんからの税金
	繰 入 金	8億6,051万円 (12.7%)	8億9,500万円 (12.4%)	一般会計、特別会計、基金等の会計間を移動するお金
	諸 収 入	1億4,657万円 ( 2.2%)	9,525万円 ( 1.3%)	町税等の延滞金や町預金利息等
	分担金及び負担金	4,227万円 ( 0.6%)	4,688万円 ( 0.7%)	保育所や養護老人ホームなどの利用者が負担したお金
	その他の自主財源	9,312万円 ( 1.4%)	9,149万円 ( 1.3%)	使用料、手数料など他の収入科目に含まれないお金
依存財源	地 方 交 付 税	36億8,000万円 (54.5%)	35億0,000万円 (48.6%)	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町 債	5億4,930万円 ( 8.1%)	10億6,450万円 (14.8%)	事業を行うために国などから借りるお金
	国 庫 支 出 金	2億8,331万円 ( 4.2%)	4億2,497万円 ( 5.9%)	事業を行うために国からもらうお金
	県 支 出 金	2億5,109万円 ( 3.7%)	2億3,258万円 ( 3.2%)	事業を行うために県からもらうお金
	地 方 譲 与 税	1億4,231万円 ( 2.1%)	1億3,220万円 ( 1.8%)	自動車重量税など国税から町に配分されるお金
	その他の依存財源	1億3,305万円 ( 2.0%)	1億3,196万円 ( 1.8%)	地方消費税交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金等
合 計		67億5,229万円 (100.0%)	72億 812万円 (100.0%)	前年度比4億5,583万円減



## ●歳入 (令和7年度予算と前年度予算との比較)

年度	依存財源	自主財源
R7 (令和7年度)	50.4億円 74.6%	17.1億円 25.4%
R6 (令和6年度)	54.9億円 76.1%	14.2億円 19.9%

項目	令和7年度	令和6年度
地方交付税	36.8億円 54.5%	35.0億円 48.6%
町税	5.7億円 8.5%	5.9億円 8.2%
町債	5.5億円 8.1%	10.7億円 14.8%
その他の依存財源	8.1億円 12.0%	9.2億円 12.7%
繰入金	8.6億円 12.7%	8.95億円 12.4%
諸収入	1.5億円 2.2%	0.95億円 1.3%
その他の自主財源	1.35億円 16.9%	1.196億円 1.8%

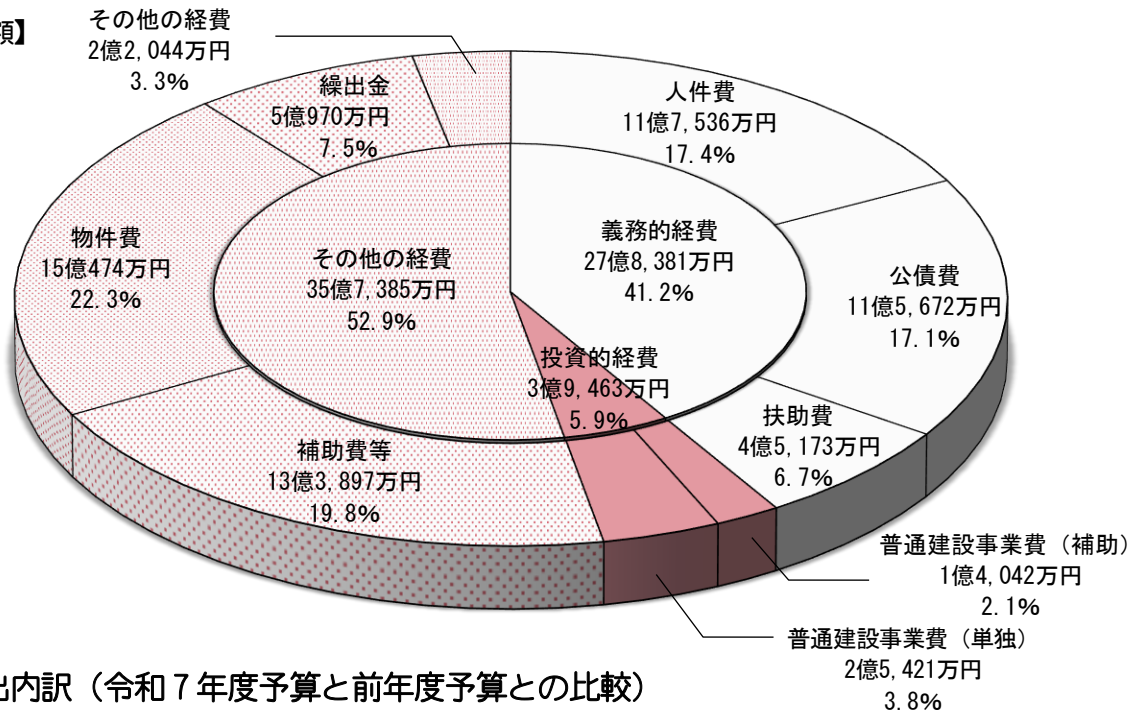
# ■一般会計 歳出 (出ていくお金)

## ●性質別

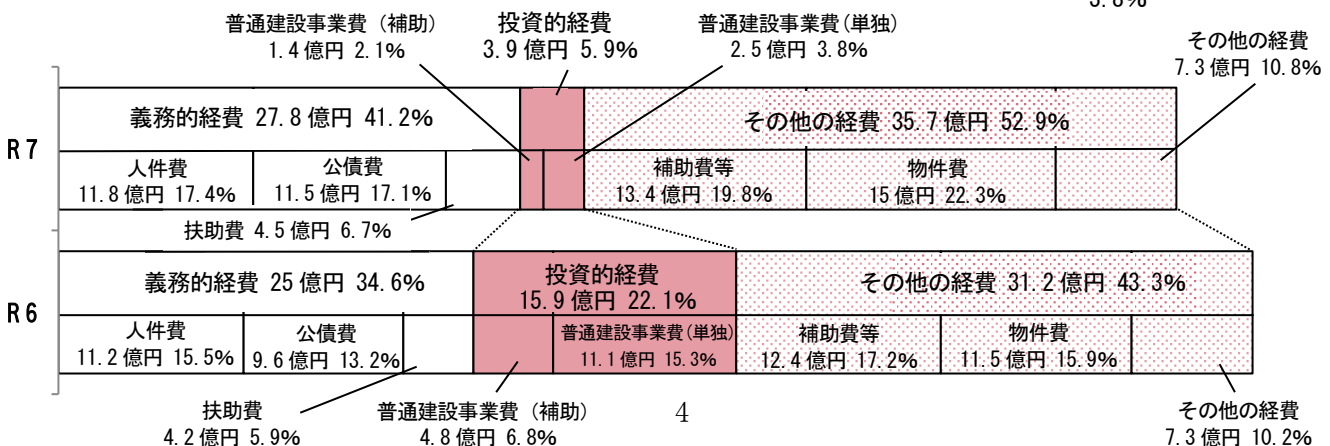
歳出は、その性質により、支出が義務づけられ任意に削減できないお金「義務的経費」、施設建設など将来残るものにかかるお金「投資的経費」、「その他の経費」の3項目に区分することができます。

項 目		令和7年度予算額 (構成比率)	令和6年度予算額 (構成比率)	摘 要
義務的経費	人 件 費	11億7,536万円 (17.4%)	11億1,477万円 (15.5%)	議員報酬、各種委員報酬、職員給与・手当などの経費
	公 債 費	11億5,672万円 (17.1%)	9億5,463万円 (13.2%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
	扶 助 費	4億5,173万円 (6.7%)	4億2,450万円 (5.9%)	医療費扶助、福祉関係扶助、教育関係扶助などの経費
投資的経費	普通建設事業費 (補助)	1億4,042万円 (2.1%)	4億8,771万円 (6.8%)	建設事業のうち、国・県などから補助金・負担金を受けて施工する事業の経費
	普通建設事業費 (単 独)	2億5,421万円 (3.8%)	11億 444万円 (15.3%)	建設事業のうち、国の補助などを受けず町が自主的に施工する事業の経費
	災害復旧事業	-万円 (-%)	-万円 (-%)	洪水などの被害を受けた施設を原形に戻すため施工する事業の経費
その他の経費	補 助 費 等	13億3,897万円 (19.8%)	12億4,335万円 (17.2%)	報奨金、損害保険料、負担金・補助金、公課費などの経費
	物 件 費	15億0,474万円 (22.3%)	11億4,825万円 (15.9%)	賃金、旅費、交際費、消耗品費、郵便料、委託料、使用料、低額備品などの経費
	繰 出 金	5億0,970万円 (7.5%)	5億0,268万円 (7.0%)	特別会計などへ支出する経費
	そ の 他 の 経 費	2億2,044万円 (3.3%)	2億2,779万円 (3.2%)	維持補修費、投資、出資金、貸付金、積立金、予備費
合 計		67億5,229万円 (100.0%)	72億 812万円 (100.0%)	前年度比4億5,583万円減

【令和7年度予算額】



## ●性質別歳出内訳 (令和7年度予算と前年度予算との比較)

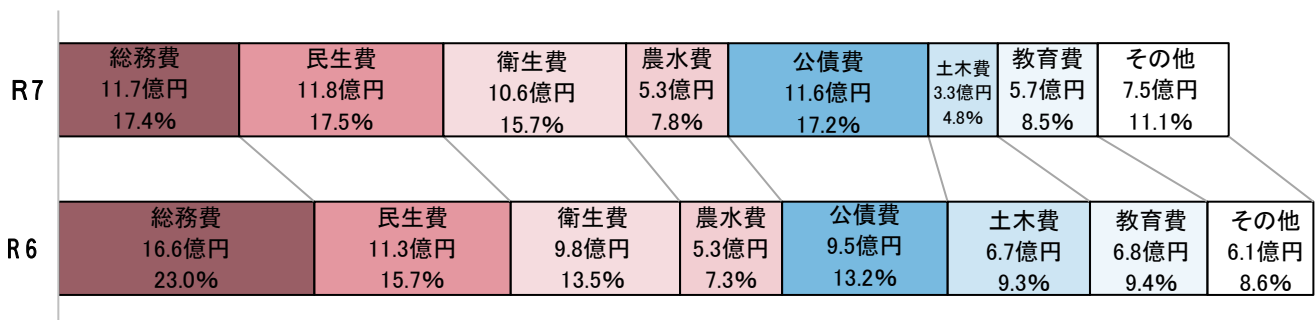


## ●目的別

目的別は、行政目的により議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費の14項目に区分されます。

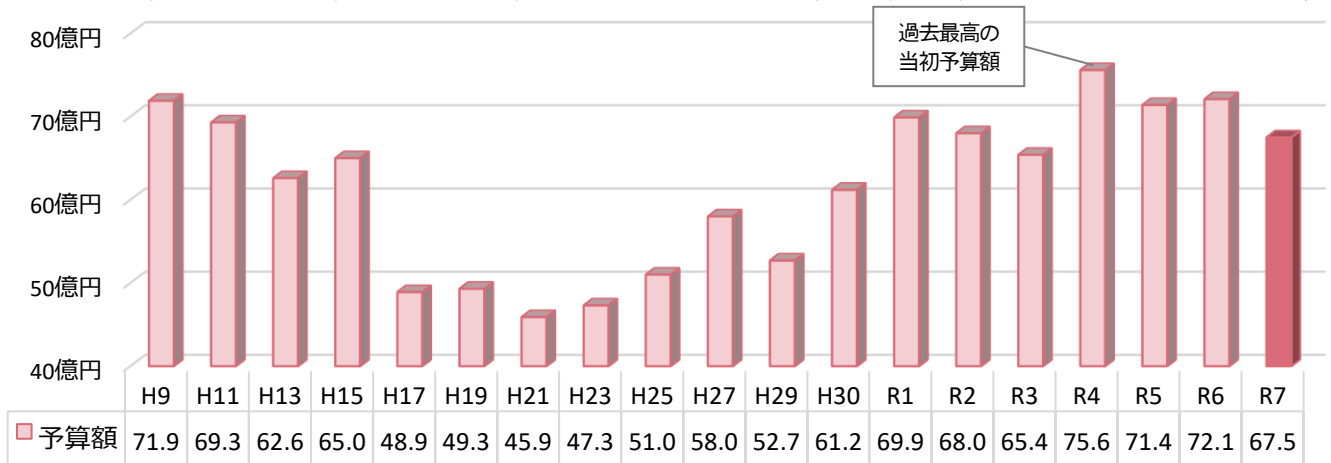
項 目	令和7年度予算額 (構成比率)	令和6年度予算額 (構成比率)	摘 要
総 務 費	11億7,352万円 (17.4%)	16億6,004万円 (23.0%)	情報通信基盤や再生可能エネルギー施設の維持管理、行政事務などにかかる経費
民 生 費	11億7,916万円 (17.5%)	11億3,115万円 (15.7%)	高齢者福祉や障がい者福祉、保育所の運営などの社会保障にかかる経費
衛 生 費	10億6,170万円 (15.7%)	9億7,614万円 (13.5%)	保健・衛生・環境などの業務にかかる経費
農 林 水 産 業 費	5億2,533万円 (7.8%)	5億2,907万円 (7.3%)	農林・畜産業の振興や土地改良事業などにかかる経費
公 債 費	11億6,087万円 (17.2%)	9億5,528万円 (13.2%)	事業のために国などから借入れたお金の元利償還金
土 木 費	3億2,614万円 (4.8%)	6億6,752万円 (9.3%)	道路・公園・河川などの建設や維持管理にかかる経費
教 育 費	5億7,511万円 (8.5%)	6億7,895万円 (9.4%)	小・中学校の運営や社会教育・体育事業の開催などにかかる経費
消 防 費	5億2,925万円 (7.8%)	3億7,883万円 (5.3%)	防災や災害時の活動などにかかる経費
商 工 費	9,980万円 (1.5%)	9,944万円 (1.4%)	商工業振興や観光振興などにかかる経費
労 働 費	2,095万円 (0.3%)	2,736万円 (0.4%)	労働福祉などにかかる経費
その他の経費	1億46万円 (1.5%)	1億434万円 (1.5%)	議会費、諸支出金、予備費などの経費
合 計	67億5,229万円 (100.0%)	72億812万円 (100.0%)	前年度比4億5,583万円減

## ●目的別歳出内訳 (令和7年度予算と前年度予算との比較)



## ■一般会計当初予算額の推移

平成9年度以降の一般会計当初予算額の推移をグラフにしました。平成9年度の71.9億円を最高に右肩下がりに転じましたが、平成25年度以降は50億円、平成30年度以降は60億円を超える水準で推移しています。今年度の当初予算額は、庁舎等建設事業が完了しつつあり、昨年度と比較すると減少しましたが、葛巻町70周年記念事業や消防ポンプ自動車購入事業などに係る予算を計上し、67.5億円となっています。



予算総額の110億1,384万円を総合計画の体系別に組み替えると、次のとおりとなります。

共通目標 7,573万円

## 1 魅力の発信による移住定住の促進と関係人口の創出 7,573万円

(1) 移住定住の促進  
5,556万円

移住定住の促進 5,556万円

(2) 情報発信の強化と関係人口の創出  
2,017万円

情報発信の強化と関係人口の創出 2,017万円

### ■ 主な事業と予算

- 各種子育て支援の情報や特色ある事業を積極的に発信し、子育て世代の呼び込みを強化します。
- 住宅取得の支援や空き家・宅地バンクの登録推進により、快適な住環境の充実を図ります。
- メールマガジンやSNS、情報配信アプリ等による情報発信の充実を推進します。

### ● 重点的に実施する事業

【継続】 定住対策住宅取得支援事業  
1,000万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町民が新たに住宅を新築する場合、または中古住宅などを購入する場合に要する経費の一部を助成します。

【給付額】

- 補助金の額：対象経費の1/2
- 補助上限額：100万円  
(町内事業所と契約し新築施工した場合、補助上限額を200万円とする)

※中古住宅購入の場合、補助上限額は80万円

【継続】 若者関係人口創出事業  
290万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

地方創生への関心の高い都市部の学生らを呼び込み、地域の活性化及び継続的な若者の関係人口の創出、ひいては将来的な移住定住の促進を図ります。

【事業内容】

- 学生等による地域づくりプログラムの実施
- 参加者の事前事後研修と関わりづくり支援
- 関係人口創出のための地域の支援
- 情報発信

【継続】 子育て世代移住者住宅取得支援事業  
800万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

移住して5年以内の子育て世代が、新たに住宅を新築する場合、または中古住宅などを購入する場合に要する経費の一部を助成します。

【助成内容】

- 補助金の額：対象経費の1/2
- 補助上限額：300万円  
(町内事業所と契約し新築施工した場合、補助上限額を400万円とする)

※中古住宅購入の場合、補助上限額は280万円

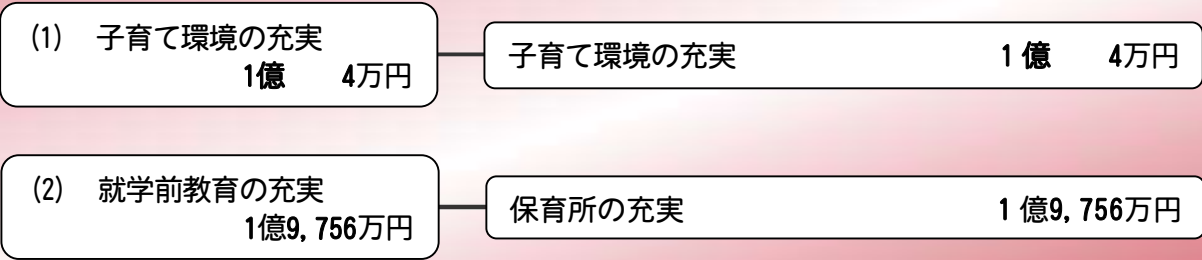
【継続】 くずまき暮らし体験ツアー事業  
200万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

移住希望者に対し、実際に町を訪れる機会を提供し、地域住民や移住者との交流を通じて、「移り住みたくなる町」としての魅力を伝えるとともに、「移住後の暮らしのイメージづくり」を図ります。

【事業内容】

- 現地でのツアー開催  
(町の紹介、移住支援制度について説明、移住者との交流、町内主要施設の見学等)

**1 子どもを安心して産み育てられる子育て支援 2億9,760万円**



**■ 主な事業と予算**

- 保育園運営のさらなる充実と保育士等の資質・能力向上に努めるとともに、就学前の子どもの成長を支え、小学校への円滑な就学を図ります。
- 町内在住の入園児の保育料完全無償化及び在宅子育ての支援の充実を図ります。
- 不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するための支援を行います。
- 妊産婦への助成や乳幼児等への医療費助成などの事業を推進し、町内での子育てを支援します。
- 食育推進計画に基づき、地産地消や伝統料理の普及など、地域特性を活かした「食育」を推進します。

**● 重点的に実施する事業**

**【新規】 妊婦のための支援給付事業**  
200万円〈健康福祉課〉

妊婦の産前産後期間における身体的・精神的・経済的負担を軽減することを目的に、妊娠時及び出産時に給付金を支給します。

**【事業内容】**

- 妊娠時：5万円  
母子手帳交付の際に手続きをご案内します。
- 出産時：妊娠している子どもの人数×5万円  
保健師による新生児訪問の際に手続きをご案内します。

**【継続】 在宅子育て支援事業**  
133万円〈こども教育課〉

町内に住所を有し、7カ月児～3歳未満児を保育園などに通わせず在宅で育児する世帯を対象に、支援金を支給します。要件及び金額は以下のとおりです。

**【事業内容・1世帯】**

- 基本額：月1万円
- 事業を営んでいる場合：月5万円

**【継続】 出産祝金支給事業**  
350万円〈健康福祉課〉

出産に対して祝金を支給することにより、次代を担う子どもの誕生を祝福するとともに、子育て環境の充実と少子化対策の推進を図ります。

**【事業内容】**

- 第1子 10万円
- 第2子 20万円
- 第3子以降 30万円



スポーツ教室で体を動かす子どもたち

## 2 学び輝く人づくりと葛巻を愛する人材育成 6億5,442万円

(1) 教育の充実 5億 539万円	小中学校教育の充実 4億 4万円 高等学校教育の充実 1億 535万円
(2) 生涯学習の充実と文化の継承 4,424万円	生涯学習の充実と文化の継承 4,424万円
(3) 生涯スポーツの推進 1億 479万円	生涯スポーツ・レクリエーションの推進 1億 479万円

### ■ 主な事業と予算

- 学校教育では、基礎学力の定着を図るとともに、地域の資源を活かした教育を推進します。
- 公営学習塾の運営を継続し、個々のニーズに合わせたフォローを行うことで、葛巻高校生の進路達成に向けた学力向上や人材育成に寄与します。
- スポーツ施設の改修や指導者育成などにより、町民の利用促進だけでなく、町外からの誘客を図るとともに、より一層の生涯スポーツの推進に努めます。

### ● 重点的に実施する事業

#### 【新規】総合運動公園施設長寿命化修繕事業 1,600万円〈まなび交流課〉

総合運動公園の野球場、スポーツコート及び多目的グラウンドの改修を行い、利用者の利便性の向上及び施設環境の充実を図ります。

##### 【事業内容】

- 野球場内外野整備工事  
内外野の表土補充・芝生整備及び転圧等
- スポーツコート改修工事  
コート内のブラッシングメンテナンス
- 多目的グラウンド改修工事  
人工芝用フィルターを設置・取付

#### 【継続】山村留学事業

5,768万円〈こども教育課〉

県外等から親元を離れて葛巻高等学校に入学する山村留學生の生活の場として、寄宿舎を運営し留學生を支援します。

また、(一財)地域・教育魅力化プラットフォームが主催する地域みらい留学事業に参加し、全国から山村留學生を募集します。

##### 【事業内容】

- 寄宿舎運営経費 5,768万円

#### 【拡充】スポーツツーリズム奨励事業 165万円〈まなび交流課〉

スポーツ合宿の誘致や、町外からのチームを集めたスポーツ大会の開催により、交流人口の拡大や地域活性化を図ります。

##### 【拡充内容】

- スポーツ合宿等宿泊費補助金  
1人あたりの補助上限額を13,500円から16,500円に引き上げ



修繕予定の総合運動公園野球場

【継続】 公営学習塾運営事業

2,277 万円〈こども教育課〉

葛巻高等学校の生徒を対象とした個別指導による無料の学習塾「葛巻町学習塾」を運営し、生徒が抱く夢と未来の実現を後押しします。

葛巻高等学校と連携しながらきめ細やかな学習支援を行い、さらなる生徒の学力向上と希望する進路の達成を目指します。

【継続】 学び輝く“ひと”づくり支援事業  
(給食費無償化)

1,193 万円〈こども教育課〉

児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、子育てしやすい環境整備を促進するため、給食費の「無償化」を行います。

【事業内容・1人あたり】

○学校給食費(無償化)

小:48,600円(年額)、中:52,500円(年額)



給食を食べる子どもたち

【継続】 高等学校教育振興事業

1,470 万円〈こども教育課〉

葛巻高等学校教育振興協議会(事務局:葛巻高等学校)に補助金を交付し、生徒の通学補助や海外研修、英検補助、進学対策といった魅力ある学校づくりに活用します。

【事業内容】

○通学補助 900万円

○魅力ある学校づくり 570万円

【継続】 学び輝く“ひと”づくり支援事業  
(学用品費等給付事業)

1,038 万円〈こども教育課〉

児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、子育てしやすい環境整備を促進するため、“学び”に必要な経費に対して支援を行います。

【事業内容・1人あたり】

○学用品費等・クラブ活動費

小:1万円(年額)、中:4万円(年額)

○修学旅行費

小:2.5万円、中:5万円

○新入学用品費(1年生)

小:4万円、中:5万円、高:4万円



ドイツ大使館を訪問した葛高生

● その他の主な事業

● 小学校・中学校管理経費	6,021 万円	(こども教育課)
● 小学校・中学校スクールバス運行経費	2,140 万円	( // )
● 小学校・中学校教育振興事業	1,581 万円	( // )
● 保健管理事業	452 万円	( // )
● 学校・家庭・地域連携協力推進事業	426 万円	(まなび交流課)
● 生涯学習推進事業	293 万円	( // )
● 文化財保護事業	164 万円	( // )

### 3 誰もが生きがいを持って暮らすことができる環境づくり 39億2,221万円

(1) 保健・医療の充実 30億3,581万円	健康づくりの推進	1億4,346万円
	医療の確保	18億6,293万円
	医療保険制度の充実	10億2,942万円
(2) 福祉の充実 8億8,640万円	地域福祉の充実	5,773万円
	高齢者福祉の充実	4億9,400万円
	障害者福祉の充実	3億3,467万円

#### ■ 主な事業と予算

- 各種感染症予防や予防ワクチン接種費用への助成を推進します。
- 医療機関などと連携し、生活習慣病予防や介護予防を重視した健康相談事業などを推進します。
- 国民皆保険制度の中核を担う国民健康保険の安定的な財政運営の確保に努めます。
- 地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉及び介護保険事業に係る各計画に基づき事業を推進します。

#### ● 重点的に実施する事業

【新規】きこえの改善支援事業  
145万円〈健康福祉課〉

身体障害者手帳の交付対象外となる中等度の聴覚障害を有している方であって、治療による聴力改善が見込めず、医師が補聴器をつけるべきと認めた者に対し、補聴器購入費用の一部を助成します。

【事業内容】

○補聴器の購入に要した費用の一部を助成

【継続】配食サービス事業  
851万円〈健康福祉課〉

75歳以上の高齢者や70歳以上のひとり暮らしの高齢者等に対して、栄養バランスのとれた食事の提供を行い、健康で安心して暮らすことができるように支援を行います。

【事業内容】

○月4回、利用者の自宅に配食ボランティアが弁当をお届けします。

【継続】子ども・生徒医療費助成事業  
1,416万円〈住民会計課〉

県の子ども医療費助成制度に加え、高校生までの医療費助成を継続して行い、適正な医療の確保と子育て世代の負担軽減を図ります。

【事業内容】

○医療費の一部負担を全額助成

【継続】看護職員等養成修学資金貸付金事業  
564万円〈健康福祉課〉

将来、町内に所在する医療・保健・福祉・介護サービス等の施設に従事する看護師、技術職員等の専門職確保を図るため、修学資金の貸付を行います。

【事業内容】

○貸付額：学費 月額10万円以内  
薬剤師は月額20万円以内  
入学金 35万円以内

○貸付利子：無利子

○貸付期間：修学年限を超えない期間

○償還免除：町内の指定施設等で一定期間、勤務した場合、一部又は全部を免除

#### ● その他の主な事業

● 生活習慣病予防事業	2,849万円	(健康福祉課)
● ぬくもり助成事業	320万円	( // )
● 特定健診事業	1,843万円	(住民会計課)
● 人間ドック事業	15万円	( // )

## 4 協創のまちづくりの推進 3,652万円

(1) 協創のまちづくり  
3,652万円

住民参画の推進

3,652万円

(2) 男女共同参画社会の推進

男女共同参画社会の推進

### ■ 主な事業と予算

- さまざまな行政課題の解決や魅力的なまちづくりについて、広く町民の皆さんが参画し、町民と行政とが協創してまちづくりに取り組むことを推進します。

### ● 重点的に実施する事業

#### 【継続】 自治会活動交付金事業

2,200万円〈総務課〉

自治会活動の安定的な維持と地域の特色を活かした主体的な活動を推進するため、各自治会に交付金を交付します。

また、光熱費の高騰により地区センター等の維持管理経費を負担が大きくなっていることから、昨年度同様交付額を増額し、自治会の負担軽減を図ります。

#### 【継続】 地区センター修繕事業

205万円〈まなび交流課〉

地区センターの長寿命化を図るため、老朽化が著しい地区センターの修繕や、利便性を向上させるための改修を行います。

#### 【事業内容】

- 茶屋場自治会館の屋根及び水道の修繕

#### 【継続】 協創のまちづくり事業

550万円〈総務課〉

住民自らが地域社会に関心を持ち、「理想・魅力・交流・育成・連携・互助」をキーワードに、自治会などの地域コミュニティ団体が地域課題を解決するために行う事業に対し、補助金を交付します。

#### 【対象事業】

- 地域住民の親睦・互助を目的とする事業
- 地域の魅力を高めるために実施する事業 等



老朽化の進む茶屋場自治会館

## II 誰もが住みたくなる“まち” 25億2,748万円

### 1 快適に暮らせる生活環境の創出 19億3,735万円

(1) 生活環境の整備  
13億8,753万円

住環境の整備	4,105万円
水道施設の整備	6億9,725万円
生活排水処理施設の整備	4億4,594万円
環境衛生の充実	2億 329万円

(2) 交通・通信ネットワーク  
の整備 5億4,982万円

道路交通網の整備	4億5,333万円
生活交通対策の推進	3,003万円
地域情報化の推進	6,646万円

### ■ 主な事業と予算

- 木造住宅の耐震診断、耐震改修工事に対する助成事業を実施します。
- 町道整備、道路維持修繕事業、安全施設設置事業や橋りょう長寿命化事業を実施し、計画的な維持管理に努めます。また、除雪体制も国・県道路線交換等を進め、効率的な計画により住民サービスの充実に努めます。
- バス交通対策については、引き続き関係町村と連携しながら路線維持に努めます。

### ● 重点的に実施する事業

【新規】 地域情報通信基盤施設更新事業  
2,024万円〈政策秘書課〉

老朽化した地上デジタル放送設備と公共施設に設置した公衆Wi-Fi設備を更新し、安全で安定的な運用を図ります。

【事業内容】

- 地上デジタル放送の入力信号を制御するCATV設備の更新
- 公共施設に整備している公衆無線LANアクセスポイント設備の更新

【新規】 猫不妊去勢手術費助成事業  
40万円〈農林環境エネルギー課〉

猫の繁殖を抑制することにより、猫による周囲への危害、迷惑を防止し、町の衛生環境の向上を図るとともに、動物の愛護と適正飼育に関する意識を啓発することを目的に、猫の不妊去勢手術費用の一部を補助します。

【事業内容】

- 猫の不妊去勢手術に要する費用の補助

【新規】 町営住宅長寿命化修繕事業  
1,056万円〈地域整備課〉

老朽化した町営住宅を修繕することで長寿命化を図ります。

【事業内容】

- 町営鳩岡住宅長寿命化修繕事業
  - ・玄関修繕工事 16戸

【継続】 道路改良事業（町道2路線）  
4,806万円〈地域整備課〉

生活関連道路の拡幅改良などにより、安全性、利便性、快適性の向上を図ります。

【事業内容】

- 町道茶屋場田子線 1,806万円
  - ・歩道整備工事
  - ・物件移転補償費
- 町道役場線 3,000万円
  - ・道路改良工事

**【継続】最終処分場長寿命化修繕事業**  
2,790万円〈農林環境エネルギー課〉

埋立完了箇所への覆土及び前年度に敷設した遮水シートの表面保護工事を行います。

また、機器類の経年劣化が著しい水処理施設について、年次点検の結果に基づき必要な修繕を行い、延命化を図ります。

**【事業内容】**

- 埋立完了箇所覆土・遮水シート表面保護工事
- 水処理施設制御盤製作

**【継続】快適な住まいづくり応援事業**  
1,800万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町民の居住環境の向上と町内経済の活性化を図るため、居住環境の向上を目的とした住宅改修工事を町内事業者が施工する場合、経費の一部をくずまき商品券で補助します。

**【補助内容】**

- 補助率：1/3
- 補助上限額：50万円

**【継続】水洗化普及支援事業**  
880万円〈水道事業所〉

公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るため、水洗化に係る工事に要する経費の一部を助成します。

**【事業内容】**

- 一般世帯
  - ・補助対象経費の1/2、42万5千円を限度
- 高齢者世帯等
  - ・補助対象経費の2/3、57万円を限度

**【継続】橋りょう長寿命化修繕事業**  
2,400万円〈地域整備課〉

橋梁定期点検の調査結果をもとに、損傷の激しい橋梁を修繕することで長寿命化を図ります。

**【事業内容】**

- 橋梁長寿命化 2,400万円
  - ・野中向橋橋梁長寿命化修繕工事

**【継続】バス路線運行拡大支援対策事業**  
1,398万円〈政策秘書課〉

民間バス路線の維持とバス利用者の利便性向上のため、民間バス事業者及びバス利用者に対して、補助金及び助成金を交付します。

**【事業内容】**

- JRバス東北 大平橋線・葛巻線の増便
- 100円バス
  - ・JRバス東北（町内便）  
運賃一律100円
  - ・JRバス東北（白樺号）  
運賃と100円の差額分を助成
  - ・県北バス（葛巻線）  
運賃一律100円

**【継続】高齢者世帯下水道使用料支援事業**  
707万円〈水道事業所〉

高齢者が居住する世帯を対象に水洗化に係る維持管理費の一部を支援し、水洗化普及率の向上を図るとともに高齢者が住みやすい環境づくりを促進します。

**【事業内容】**

- 75歳以上の高齢者が居住する世帯の下水道使用料の一部を補助

**●その他の主な事業**

●馬淵川（北部）地区水道施設整備事業	3億 320万円	（水道事業所）
●浄化槽整備事業	3,576万円	（ 〃 ）
●廃棄物処理事業	7,070万円	（農林環境エネルギー課）
●し尿処理事業	4,236万円	（ 〃 ）
●JRバス生活交通路線維持事業	766万円	（政策秘書課）
●広域生活路線維持事業	492万円	（ 〃 ）

## 2 自然と共生し地域の豊かな資源を活用するまちづくり 4,607万円

(1) 自然環境の保全と土地の利活用  
3,813万円

土地の利活用等

3,813万円

(2) 再生可能エネルギーの推進  
794万円

新エネルギー・省エネルギーの普及・啓発  
794万円

### ■ 主な事業と予算

- 町の貴重な財産である自然環境を守り育て、次世代へ引き継ぐための意識啓発と自然環境保護に取り組みます。
- 新エネルギーなどの導入や環境に配慮した取り組みを町民や事業者が実感できるような事業を推進します。

### ● 重点的に実施する事業

#### 【新規】資源循環施設長寿命化修繕事業

778万円〈農林環境エネルギー課〉

稼働開始から20年以上経過し、全体的に老朽化が進んでいる畜ふんバイオガスシステムについて、必要な修繕工事を行い、延命化を図ります。

#### 【事業内容】

- No. 2 発酵槽攪拌機交換
- 生ごみ発酵槽投入ポンプ交換
- 給湯配管更新

#### 【継続】中山間地域総合整備事業・江川地区

720万円〈地域整備課〉

江川地区（四日市～栗山）の基盤整備及び環境整備を広範囲で整備することで農業振興の向上を図ります。

#### 【事業内容】

県営事業負担金 720万円

- 全体計画
  - ・農道整備 6路線 排水路整備 2路線
  - ・集落排水路 2路線 防火水槽 7箇所
  - ・水辺空間施設 1箇所
- 令和7年度
  - ・農道大沢線
  - ・農道整備 L=220m W=4.0(5.0)m

#### 【継続】エコ・エネ総合対策事業

500万円〈農林環境エネルギー課〉

地域循環型社会の構築と町内経済の活性化を図るため、新エネルギー・省エネルギー設備の導入や集団資源回収活動に要する経費に対し、補助金を交付します。

#### 【事業内容】

- 太陽光発電設備、蓄電池、クリーンエネルギー自動車（電気自動車、ハイブリッド自動車等）、薪ストーブ、高効率給湯器、LED照明、生ごみ処理機、コンポスター等の導入費用の補助



エコ・エネ総合対策事業で導入した太陽光発電設備

### ● その他の主な事業

- 中山間地域等直接支払制度事業 …………… 1,308万円（農林環境エネルギー課）
- 河道浚せつ事業 …………… 200万円（地域整備課）

### 3 こころ穏やかに安全安心に暮らせる地域社会づくり 5億4,406万円

(1) 防災対策、消防・救急体制の充実 5億2,924万円

防災対策、消防・救急体制の充実 5億2,924万円

(2) 交通安全・防犯・青少年問題対策の充実 1,482万円

交通安全・防犯・青少年問題対策の充実 1,482万円

#### ■ 主な事業と予算

- 災害の未然防止及び応急体制の確立を図るとともに、町民の防災意識の高揚に努めます。
- 関係団体と緊密な連携を図りながら、消防施設の近代化と組織体制の強化に努めるとともに、町民の防火意識の高揚に努めます。
- 事故や犯罪がなく誰もが安心して暮らせるまちづくりに向け、町民の意識啓発活動に取り組みます。

#### ● 重点的に実施する事業

【新規】消防ポンプ自動車購入事業  
1億2,797万円（総務課）

あらゆる災害に対し、迅速かつ的確に対処して安心・安全なまちづくりのため、購入から一定基準を経過している消防ポンプ自動車を更新します。

【事業内容】

- 水槽付消防ポンプ自動車（葛巻分署）
- 消防ポンプ自動車（第1分団）

【新規】防災マップ更新事業  
465万円（総務課）

町民の防災意識の高揚を図るとともに、災害発生時に迅速で円滑な応急対策ができる体制を強化するため、防災関連情報等を記載した「防災マップ」を更新します。

【事業内容】

- 防災マップ（3,000部）
- 防災管内図（災害対策本部用・葛巻分署用）

【新規】指定避難所生活環境改善機器購入事業  
1,800万円（総務課）

近年、激甚化・頻発化している地震や大雨災害等に備え、快適な避難所環境の構築を図るとともに、夏季の熱中症対策に資するため、「移動式エアコン」を整備します。

【事業内容】

- 移動式エアコン

【新規】指定避難所施設長寿命化修繕事業  
370万円（総務課）

子どもや高齢者、女性へ配慮した避難所環境の整備を図るため、指定緊急避難場所である「コミュニティ防災センター」のトイレの改修を行います。

【事業内容】

- トイレの分室化
- 便器の更新

#### ● その他の主な事業

- 交通安全看板整備事業 ..... 216万円（総務課）
- 避難所災害種別標識設置事業 ..... 136万円（ // ）

### III 地域資源を活かす“しごと” 5億1,503万円

#### 1 基幹産業の新たな展開による高収益産業の実現 3億8,347万円

(1) 農業の振興 2億6,109万円	畜産振興 1億1,001万円 農業振興 1億 37万円 農業施設等の整備 5,071万円
(2) 林業の振興 1億1,379万円	林業振興 1億1,379万円
(3) 農林産物加工の振興 859万円	加工施設の充実 859万円

#### ■ 主な事業と予算

- 農業振興では、園芸作物の生産拡大、経営所得安定対策の推進を図るなど、農家の所得向上に努めます。
- 畜産振興では、粗飼料生産基盤の強化と粗飼料自給率の向上を図るとともに、乳用牛及び肉用牛の改良を進め、農家経営の安定化対策に努めます。
- 林業振興では、豊かな森林環境の将来にわたる保全と利用拡大を推進します。

#### ● 重点的に実施する事業

【新規】畜産暑熱対策事業  
500万円〈農林環境エネルギー課〉

畜舎の環境対策として、暑熱対策に必要な設備の導入または更新に係る費用の一部を助成します。

【事業内容】

- 事業費の1/2の額を補助
- 補助上限額：100万円

【継続】草地更新支援事業  
2,160万円〈農林環境エネルギー課〉

飼料自給率の向上と、良質な牧草生産による高品質な生乳生産を図るため、草地更新に要する資材等の経費の一部を助成します。

【事業内容】

- 対象経費の4/5の額を助成  
(上限21万6千円/ha)

【拡充】森林保全特別対策事業  
3,500万円〈農林環境エネルギー課〉

森林所有者等が行う森林整備事業、間伐材利用推進事業及び基盤整備事業に要する経費に対し、補助金を交付します。

【事業内容】

- 再造林 40ha ○下刈り 90ha
- 除伐 40ha ○保育間伐 10ha
- 間伐材搬出 1,900 m<sup>3</sup>  
※補助金単価を1,520円/m<sup>3</sup>から2,700円/m<sup>3</sup>に拡充
- 作業道改良補修 3,000m

【継続】町産材利用促進事業  
420万円〈農林環境エネルギー課〉

町産材の利用拡大を図るため、町で生産された木材を利用して住宅や畜舎等を新築、または増改築する場合の建築経費の一部を助成します。

【事業内容】

- 補助額：町産材使用料1 m<sup>3</sup>あたり6万円
- 補助上限額：720万円(120 m<sup>3</sup>)

#### ● その他の主な事業

- 町有施設LED化事業 ..... 740万円(農林環境エネルギー課)
- 公社施設LED化整備事業 ..... 440万円( // )
- 育成牛預託助成事業 ..... 2,016万円( // )

## 2 交流・連携の強化による地域産業の育成 1億2,818万円

(1) 商工業の振興 8,480万円	商工業の振興	8,480万円
(2) 観光の振興 2,500万円	観光の振興	2,500万円
(3) 交流・連携の推進 1,838万円	交流・連携の推進	1,838万円

### ■ 主な事業と予算

- 商工業振興では、原材料やエネルギー類の価格高騰の影響を受けた事業者に対する支援事業や、各種補助制度による商工業者の経営の持続、安定、革新を支援します。
- 交流連携の推進では、関係人口の創出・拡大を図るとともに、移住・定住希望者へ向けた体験ツアーやおためし居住の実施、住宅取得支援の実施により、移住・定住者の確保に努めます。

### ● 重点的に実施する事業

【新規】町家旧遠藤邸改修検討事業  
100万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

新町地区の旧遠藤邸は老朽化も著しく、また、今後まちなかの拠点として更に利活用を推進するため、古民家改修やリノベーション事業等で実績のある建築家・デザイナーと、整備後に主要なプレイヤーと想定される関係者で検討を行い、整備に係る計画等を策定し、まちなかの賑わい創出を図ります。

【継続】くずまきDMO事業  
1,000万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

交流・関係人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、町の魅力を活かした観光ツアーの開発や起業支援等による魅力的な雇用、飲食店等の魅力向上、若者との協働による地域づくり等を推進します。

【事業内容】

- 観光・交流促進事業
- まちなかエリアリノベーション事業
- 飲食店等魅力向上支援事業
- 若者関係人口創出事業 等

【継続】特産品販売促進事業  
1,200万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

地域経済の活性化を図るとともに、町の特産品の販売促進や販路拡大、認知度向上を目的として、対象期間中に消費者が購入した町の特産品を町外に発送する際の送料を補助します。

【補助対象者】

- 町が規定する「特産品の要件」に該当する特産品を販売する町内事業者

【継続】商店等設備導入支援事業  
500万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町民の日常生活に必要な地域の商店や飲食店等の持続的な経営を支援し、町民の安心・安全及び町内経済の活性化を図るため、町内の商店等の設備導入や店舗改装に要する経費の一部を補助します。

【補助内容】

- 補助率：2/3
- 補助上限額：50万円

### ● その他の主な事業

● 商工業振興対策事業	650万円	(いらっしやい葛巻推進課)
● 中小企業振興資金融資制度	1,174万円	( // )
● 中心市街地活性化事業	420万円	( // )
● 町産業まつり開催事業	150万円	( // )

### 3 地域資源を活かした起業支援と雇用の確保 338万円

(1) 起業支援と雇用の確保  
338万円

起業支援と雇用の確保

338万円

#### ■ 主な事業と予算

- 商工業の経営品質向上や技術の承継、後継者の育成など、産業振興による地域経済の活性化を図ります。
- 町民の就労機会の確保と拡大、就労者の地元への定着を促進するため、事業主等の雇用に対する支援を行います。
- 町民が新たな資格や免許を取得する際の経費の一部を支援し、安定した就労支援と継続雇用、スキルアップによる労働者の所得向上を図ります。

#### ● 重点的に実施する事業

##### 【継続】雇用拡大所得向上支援事業

1,800万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町民の就労機会の拡大と定着及び所得の向上を図るため、常用雇用労働者を雇用した事業主に経費の一部を助成します。

##### 【補助内容】

- 雇用拡大支援事業 [上限]12万円/人
  - 雇用定着支援事業 [上限]36万円/人
  - 所得向上支援事業 [上限]5万円/人
- ※事業ごとに補助要件が違います

##### 【継続】基幹産業担い手確保支援事業

100万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

学生の就職と事業所の人材確保、つながりづくりについて一体的支援を行い、若者世代の移住定住促進と、地域の基幹産業の担い手確保を図ります。

##### 【事業内容】

- 牛とミルクのお仕事見学会
- 葛巻高校町内企業就職ガイダンス
- 新採用職員合同研修会
- くずまきお仕事展
- くずまきお仕事勉強会

##### 【継続】特定地域づくり事業

1,098万円〈政策秘書課〉

新たな雇用を創出するとともに、都市部からの若者の呼び込みと地域内の若者の定着を推進するため、労働者派遣事業を行う「特定地域づくり事業協同組合」の取組を支援します。

##### 【助成内容】

- 特定地域づくり事業協同組合に対する補助（派遣職員の人件費、事務局運営費）
- 組合員の利用料に対する補助

##### 【継続】資格取得助成事業

80万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町への定住促進と安定した就労支援を行うとともに、地域産業の振興及び町民の所得向上を図るための就労に要する資格取得に係る経費の一部を支援します。

##### 【補助内容】

- 補助額：受講料、受験料などの対象経費の1/2（限度額5万円）

## IV その他の行政業務 29億8,485万円

行政運営、賦課徴収、戸籍、選挙、町債の返済等で、総合計画の体系に分類できない業務 29億8,485万円

公債費	11億6,087万円
総務、企画、統計	15億6,070万円
税務、戸籍	1億 839万円
議会、選挙、監査	8,109万円
その他	7,380万円

### ●重点的に実施する事業

#### 【新規】航空写真更新事業

1,800万円〈住民会計課〉

適正な固定資産税の課税や固定資産管理業務に使用している庁内地理情報管理システムの更新のため、町内全域の航空・衛星写真を撮影し、窓口で交付している図面に撮影された画像を反映します。

#### 【継続】庁舎等建設事業

1億1,390万円〈政策秘書課〉

新庁舎の整備に続き、消防分署棟などを整備し、さまざまな機能の集約化と、新たなまちの拠点としての賑わいの創出を図ります。

##### 【事業内容】

- 2期工事  
(消防分署棟、大屋根広場、車庫棟の整備)

#### 【新規】地域課題解決推進事業

200万円〈政策秘書課〉

人口減少が進む中、多様化するニーズに対応し、地域間競争に負けない地域資源を活用した取組みを進めるとともに、町が抱える地域課題の早期解決に向けた環境と体制を整備します。

##### 【事業内容】

- コミュニティバスの導入による利便性向上
- 特産品の開発

#### 【継続】葛巻町70周年記念事業

3,000万円〈政策秘書課〉

交流人口及び定住人口の増加・拡大を図るため、「山村のモデル」としての取組を県内外に情報発信し、各種周年記念事業を実施します。

##### 【事業内容】

- 「葛巻町70周年記念式典」開催
- 各種周年記念イベント等の実施

### 令和6年度から令和7年度に予算を繰り越して実施する事業

事業名	事業費	完了見込
庁舎等建設事業	7億4,136万円	R7.7月
経済活性化事業	1,100万円	R7.7月
道路維持管理事業	950万円	R7.10月
町道葛巻浦子内線道路改良事業	1億6,000万円	R7.10月
橋りょう維持管理事業	2,400万円	R7.11月
住宅管理事業	500万円	R7.12月
小学校施設整備事業	4,722万円	R7.4月
中学校施設維持修繕事業	2,560万円	R7.7月
保健体育総務管理事業	649万円	R7.5月
農業用施設災害復旧事業	340万円	R7.12月
林道施設災害復旧事業	300万円	R7.12月
公共土木施設災害復旧事業	2,970万円	R7.12月
繰越事業費計	10億6,627万円	

## ■森林環境税及び森林環境譲与税の創設

パリ協定の枠組みの下における温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、平成31年3月に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立し、「森林環境税」及び「森林環境譲与税」が創設されました。

## ■森林環境税

令和6年度から個人住民税均等割の枠組みを用いて、国税として1人年額1,000円を市町村が賦課徴収するものです。

## ■森林環境譲与税

市町村による森林整備等の財源として、令和元年度から譲与が開始され、市町村や都道府県に対して私有林人工林面積、林業就業者数及び人口による客観的な基準で按分して譲与されています。

## ■葛巻町への譲与額

葛巻町にも令和元年度から森林環境譲与税が譲与され、令和元年度の2,043万円から段階的に増加し、令和6年度は6,702万円となっており、5年間の総額は2億6,653万円となっています。令和7年度は6,831万円の譲与を見込んでいます。

## ■森林環境譲与税の使途

森林環境譲与税は間伐等の「森林整備に関する施策」、人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備の促進に関する施策」に充てることとされており、葛巻町では、主に次の事業に取り組んでいます。

- 森林所有者への経営意向調査や森林現況調査
- 森林整備（除間伐、作業道補修、測量機器整備、林地台帳更新等）
- 林業就業者の確保・育成対策（森林雇用促進住宅整備、労働安全装備品導入事業）
- 普及啓発（トリプルまきフェスタ開催、森林公園等修繕）

## ■令和7年度の取組事業

事業名	事業費
専門員の雇用（林政アドバイザー）	505万円
森林所有者への経営意向調査・森林現況調査	766万円
森林整備（除間伐、作業道補修、測量機器整備等）	3,234万円
木材利用の促進（町産材利用促進事業、木製ベンチ整備）	745万円
林業就業者の確保・育成対策（労働安全装備品導入事業）	67万円
普及啓発（トリプルまきフェスタ開催、森林公園修繕等）	274万円
基金積立	1,240万円
合 計	6,831万円

# 令和5年度 まちの決算の状況

## ■歳入歳出決算額

### ○一般会計・特別会計の状況

令和5年度の一般会計及び3つの特別会計の決算総額は、歳入総額96億6,046万円に対し、歳出総額93億7,463万円で、歳入歳出差引額は2億8,583万円（翌年度への繰越財源を除いた実質収支は1億7,978万円）となっています。

また、前年度と比較して歳入総額は18億2,461万円（15.9%）の減、歳出総額は11億6,678万円（11.1%）の増となっています。

会計名	当初予算額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	71億4,397万円	85億1,024万円	82億5,132万円	2億5,892万円
特別会計	11億7,776万円	11億5,022万円	11億2,331万円	2,691万円
国民健康保険事業	8億4,836万円	8億5,040万円	8億4,104万円	936万円
農業集落排水事業	2億4,137万円	2億1,258万円	1億9,921万円	1,337万円
後期高齢者医療事業	8,803万円	8,724万円	8,306万円	418万円
合計	83億2,173万円	96億6,046万円	93億7,463万円	2億8,583万円

### ○一般会計の歳入・歳出決算の内訳

歳入項目		令和5年度決算額 (構成比率)	歳出項目		令和5年度決算額 (構成比率)
自主財源	町税	5億6,682万円 (6.7%)	義務的経費	人件費	9億8,262万円 (11.9%)
	諸収入	1億1,291万円 (1.3%)		公債費	8億8,381万円 (10.7%)
	分担金及び負担金	4,426万円 (0.5%)		扶助費	6億5,935万円 (8.0%)
	繰入金	4億3,387万円 (5.1%)	投資的経費	普通建設事業費 (補助)	1億8,637万円 (2.3%)
	その他の自主財源	10億558万円 (11.8%)		普通建設事業費 (単独)	15億3,001万円 (18.5%)
依存財源	地方交付税	39億4,568万円 (46.4%)	災害復旧事業	1億2,342万円 (1.5%)	
	町債	13億1,906万円 (15.5%)	その他の経費	補助費等	11億7,713万円 (14.3%)
	国庫支出金	5億8,050万円 (6.8%)		物件費	9億6,070万円 (11.6%)
	県支出金	2億2,143万円 (2.6%)		繰出金	4億7,901万円 (5.8%)
	地方譲与税	1億2,813万円 (1.5%)		その他の経費	12億6,890万円 (15.4%)
	その他の依存財源	1億5,200万円 (1.8%)			
合計	85億1,024万円 (100.0%)	合計	82億5,132万円 (100.0%)		

## ○企業会計の状況

病院事業会計は総収益 10 億 7,816 万円に対し、総費用が 10 億 8,834 万円となり、純損失 1,018 万円を計上しました。

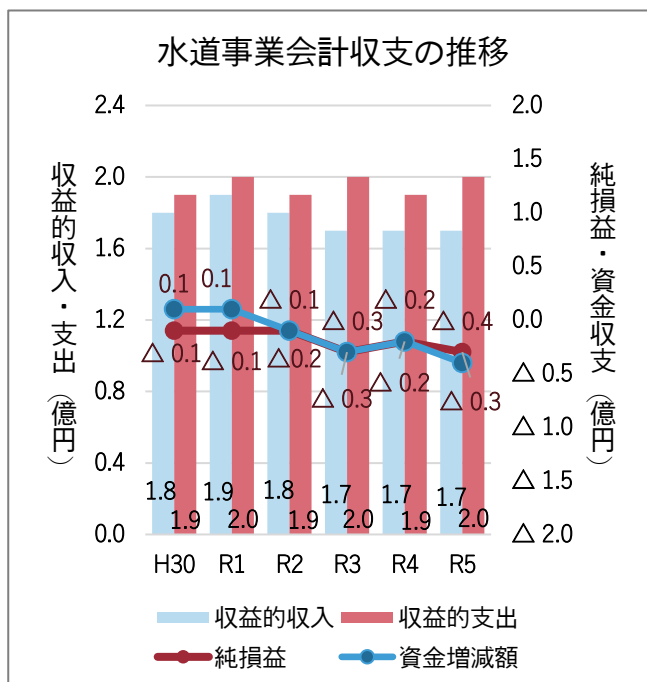
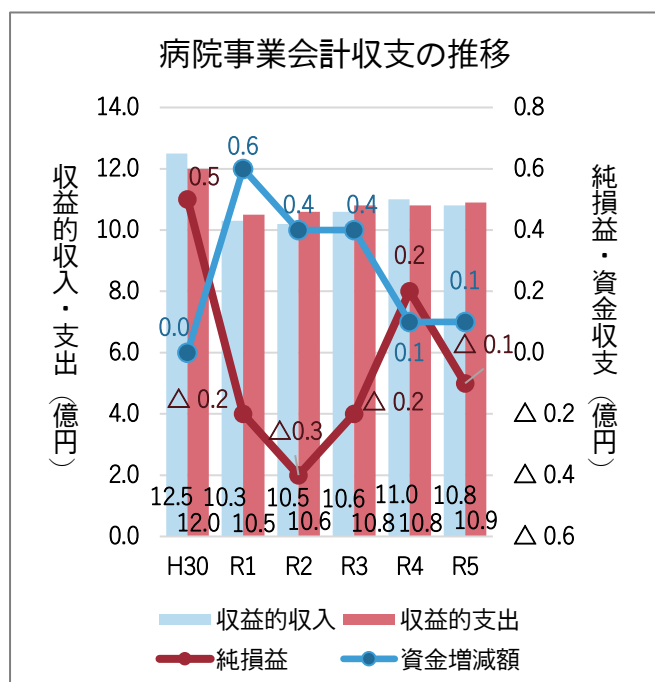
水道事業会計は総収益 1 億 6,269 万円に対し、総費用が 1 億 9,207 万円となり、純損失 2,938 万円を計上しました。

(税込)

項目	病院事業会計		水道事業会計	
	金額	金額	金額	金額
収益的収支	医業収益	6億6,701万円	営業収益	1億1,769万円
	医業外収益	3億1,645万円	営業外収益	4,500万円
	医業費用	10億6,685万円	営業費用	1億7,619万円
	医業外費用	1,866万円	営業外費用	1,588万円
	特別利益	9,471万円	特別利益	—
	特別損失	284万円	特別損失	—
	純損益	△1,018万円	純損益	△2,938万円
資本的収支	資本的収入	8,209万円	資本的収入	9,501万円
	資本的支出	1億3,958万円	資本的支出	1億4,895万円
	差引収支	△5,749万円	差引収支	△5,394万円
資金収支(税抜)	資金増減額	1,137万円	資金増減額	△3,348万円

※ 収益的収支は、経営活動によって発生する収入と支出のことをいい、資本的収支は、建物や施設の建設などに係る収入と支出のことをいいます。

また、「資金収支」は事業年度における資金の受払いの状況を経理したもので、資金増減額は、事業年度における現金の増加（△は減少）額を示しています。

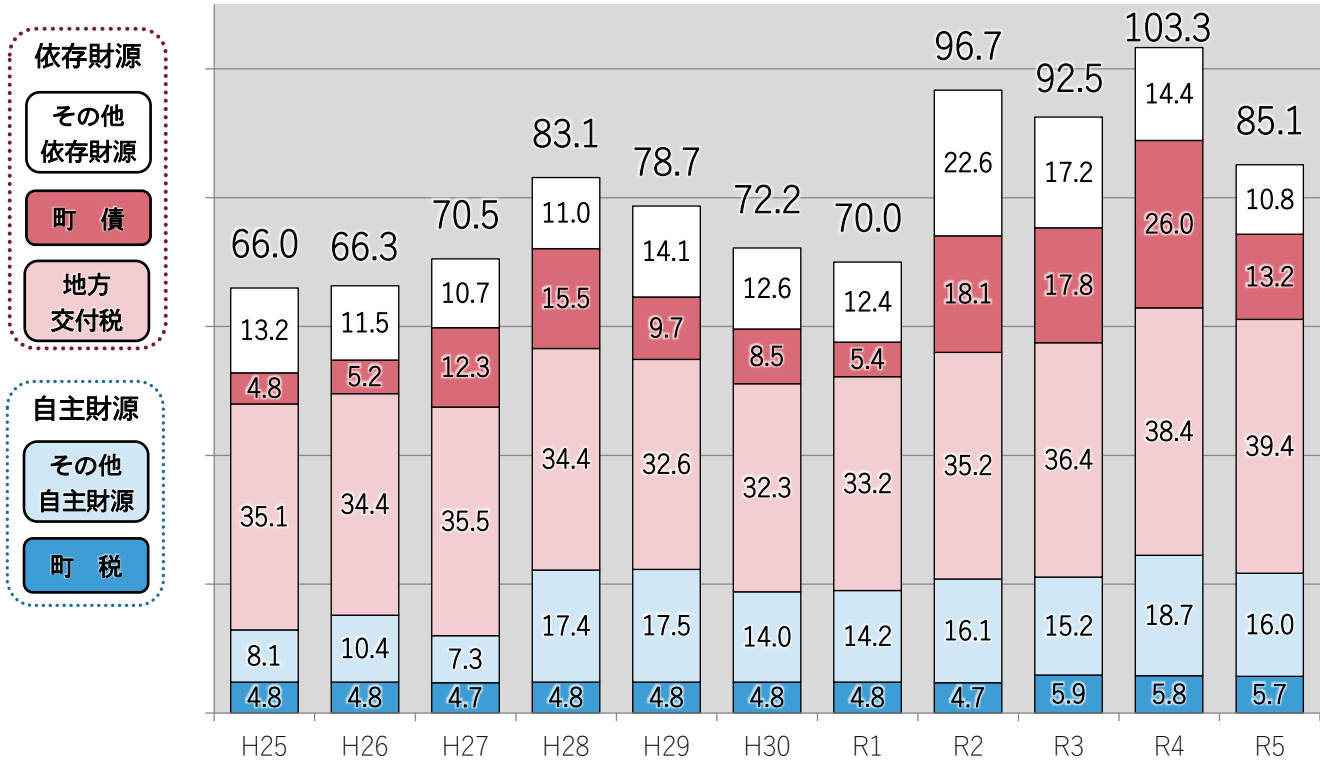


## ■一般会計歳入歳出決算額の推移

令和5年度の町の一般会計決算額は、歳入が85億1,024万円（前年度比18億2,357万円、17.6%減）、歳出が82億5,132万円（前年度比11億5,838万円、12.3%減）となり、歳入歳出差引額は2億5,892万円（前年度比6億6,519万円、72.0%減）の黒字となっています。

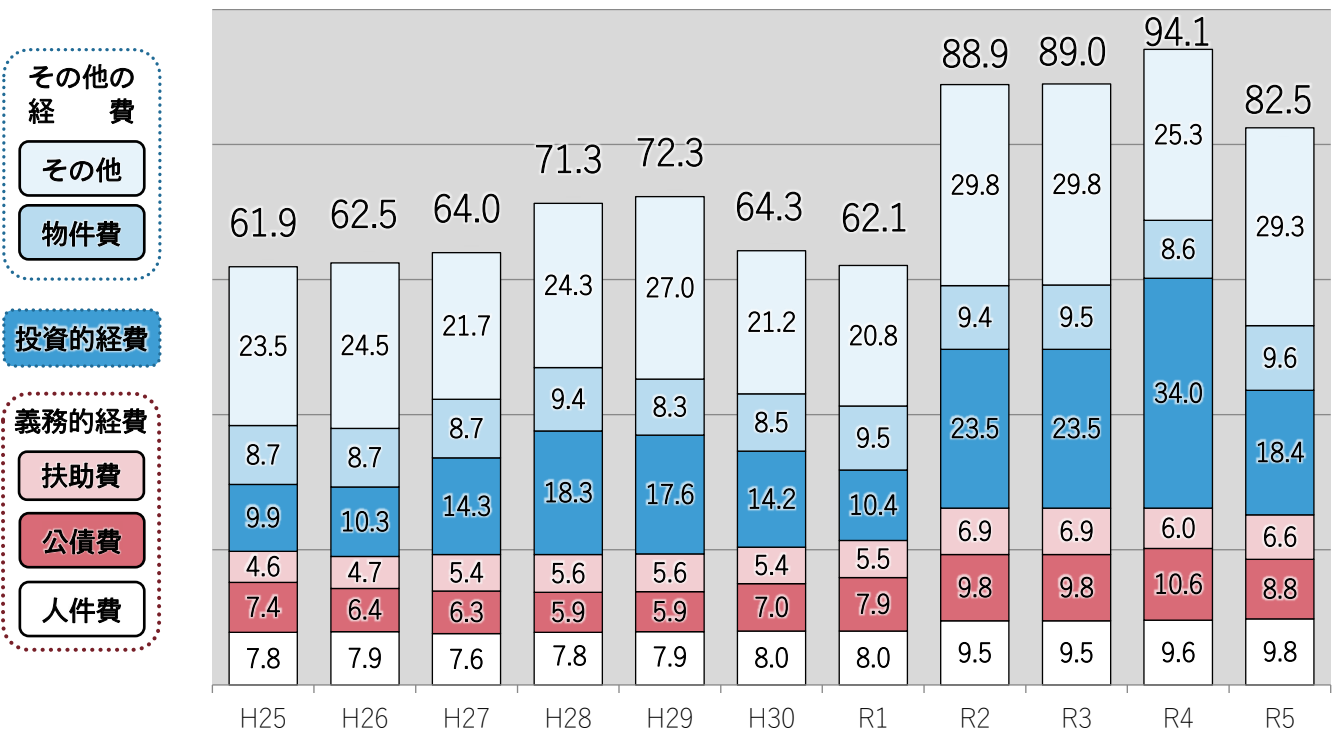
### ●歳入決算額の推移

（単位：億円）



### ●歳出決算額の推移

（単位：億円）

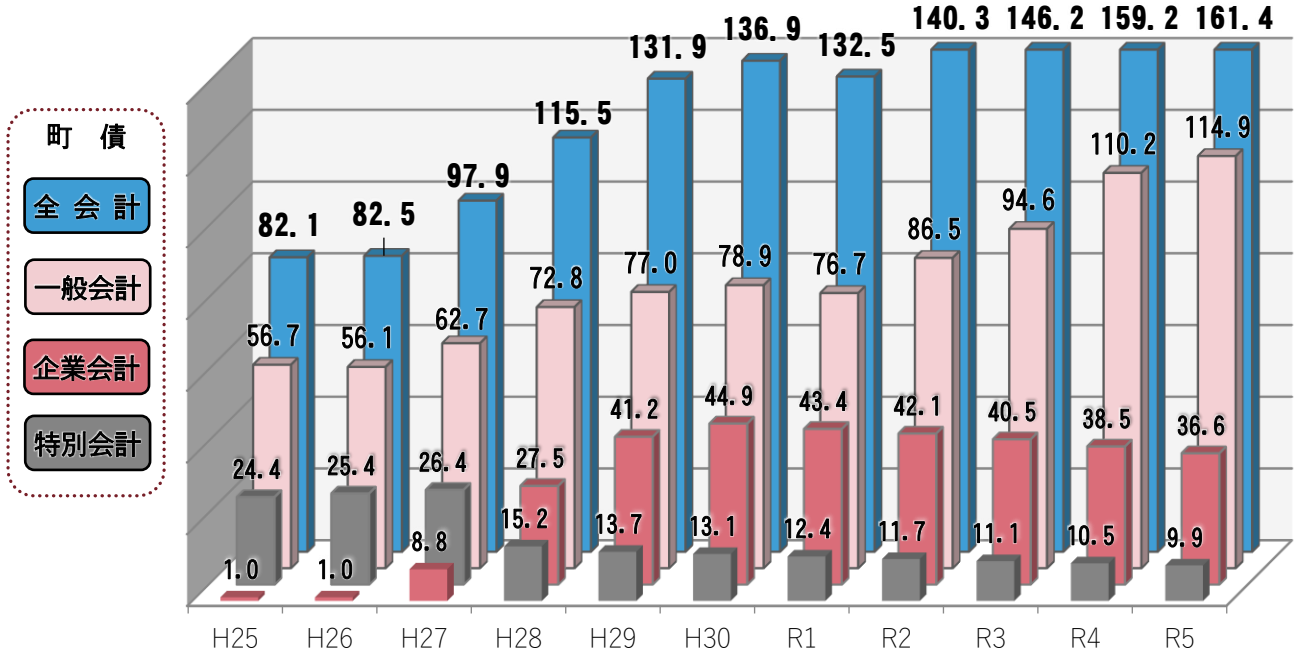


## ■町債現在高の推移

町の借金である町債残高の推移を表したグラフです。令和5年度の一般会計の借入額は、庁舎等建設事業のうち1期工事の完了に伴い13億1,906万円（前年度比12億8,299万円、49.3%減）となり、令和5年度末の全会計の借入残高は、161億4,470万円（前年度比2億2,033万円、1.4%増）となっています。

一方で、将来にわたる安定的な財政運営を見据え、起債残高の縮小を図る取組みとして、1億4,356万円の繰上償還を行っています。

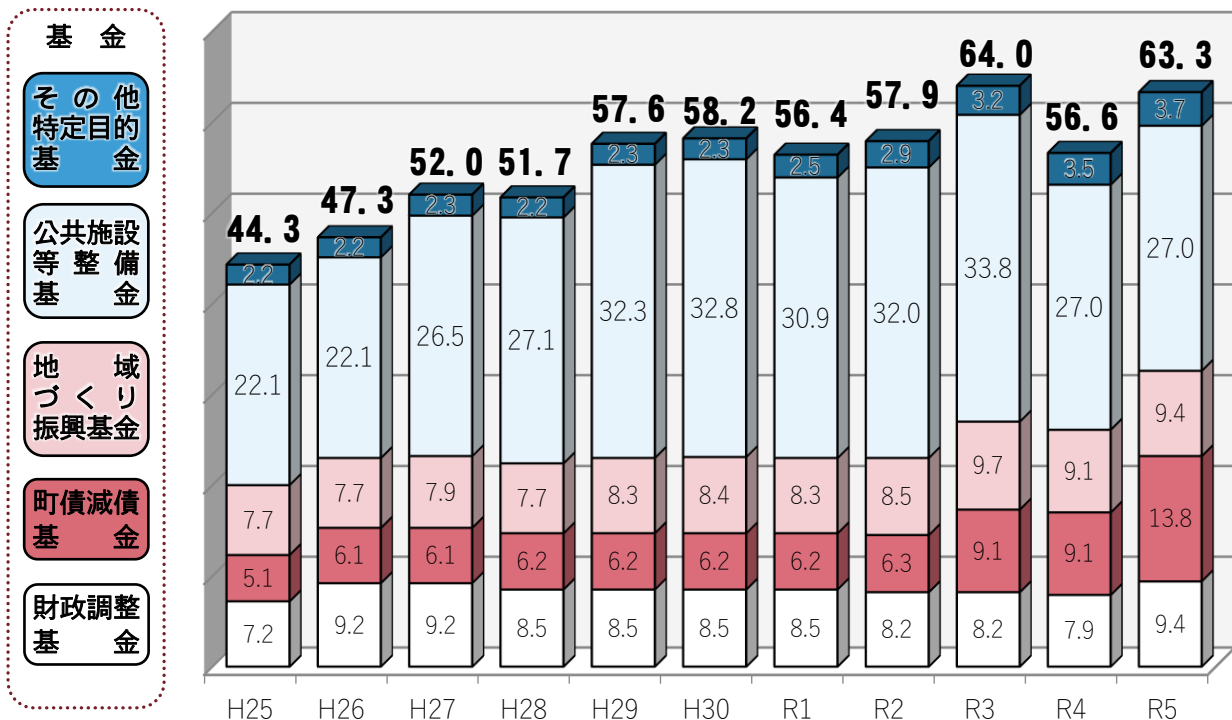
（単位：億円）



## ■基金残高の推移

町の貯金である基金の令和5年度末の基金残高総額は63億2,716万円で、前年度に比較して6億6,497万円（11.7%）の増となりました。積み立てた基金は、庁舎等建設のほか、今後見込まれる老朽化した公共施設や各種インフラの修繕、更新などの費用に充てられる予定です。

（単位：億円）



# ■まちの財政の状況

## ●財政指標

項目	令和5年度 決算 A	令和4年度 決算 B	差引 (A-B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	20.0 %	30.0 %
実質公債費比率	7.4 %	7.9 %	△0.5p t	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	-	12.8 %	皆減	350.0 %	
財政力指数	0.18	0.18	-		
経常収支比率	89.0 %	80.0 %	9.0p t		

### ■実質赤字比率

一般会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の解消を図る必要があります。

町の令和5年度一般会計における実質赤字額は生じていませんので、実質赤字比率はありません。

### ■連結実質赤字比率

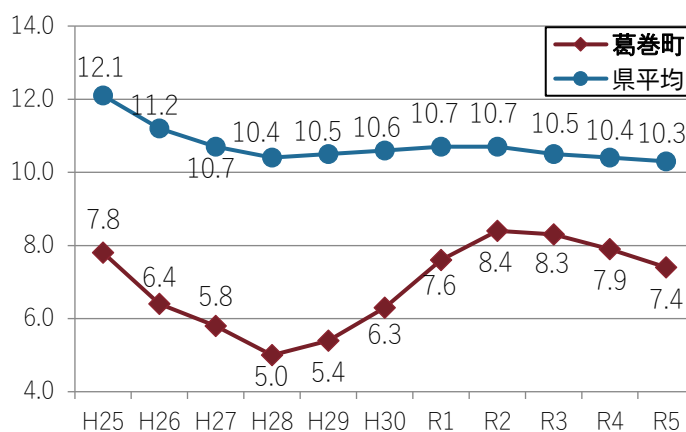
特別会計などを含め全ての会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。連結実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の早期解消を図る必要があります。

町の令和5年度決算において、いずれの会計とも実質赤字額は生じていませんので、連結実質赤字比率はありません。

### ■実質公債費比率

借入金の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示す比率です。実質公債費比率の早期健全化基準は25%ですが、18%を超えると町債の借入れに対して都道府県からの許可が必要となります。

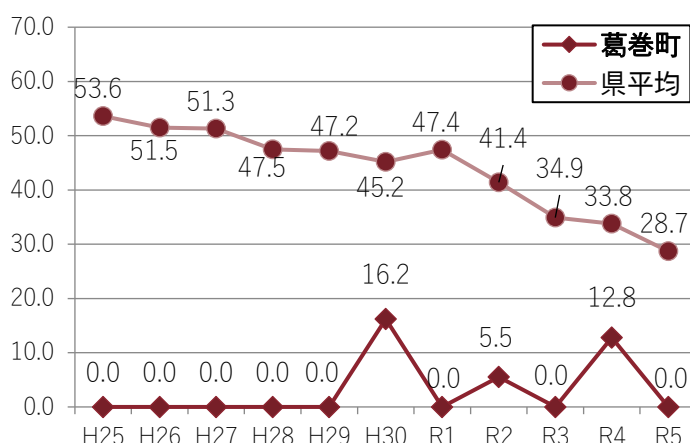
町の令和5年度における実質公債費比率は、7.4%で、前年度と比較して0.5ポイント改善しています。



### ■将来負担比率

一般会計における将来負担見込額（借入金の残高、公益企業の借入金の繰入見込額、退職手当負担見込額、第三セクターの負債額等）を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

町の令和5年度における将来負担比率は、比率なし（0.0%）となりました。



## ■財政力指数

財政力(※1)の過去3カ年間の平均値をいい、財政力を示す指数として用いられる数値で、財政力指数が「1」に近いほど財政力が強いとみることができます。

町の令和5年度の財政力指数は0.18で、前年度と同数値となりました。

※1 財政力 … 基準財政収入額(※2)の基準財政需要額(※3)に対する割合

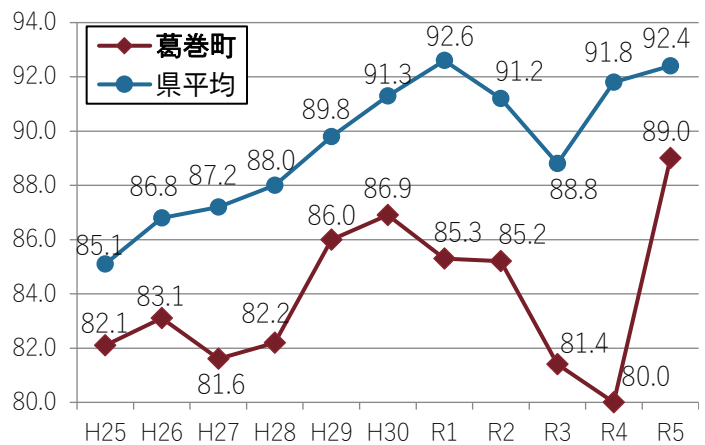
※2 基準財政収入額 … 通常標準的に徴収しうるであろうと考えられる税収入

※3 基準財政需要額 … 合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために必要な財政需要

## ■経常収支比率

経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように経常的に支出される経費に割り当てられる財源の比率で、この比率が低くなるほど財政構造が弾力的であることを示しています。

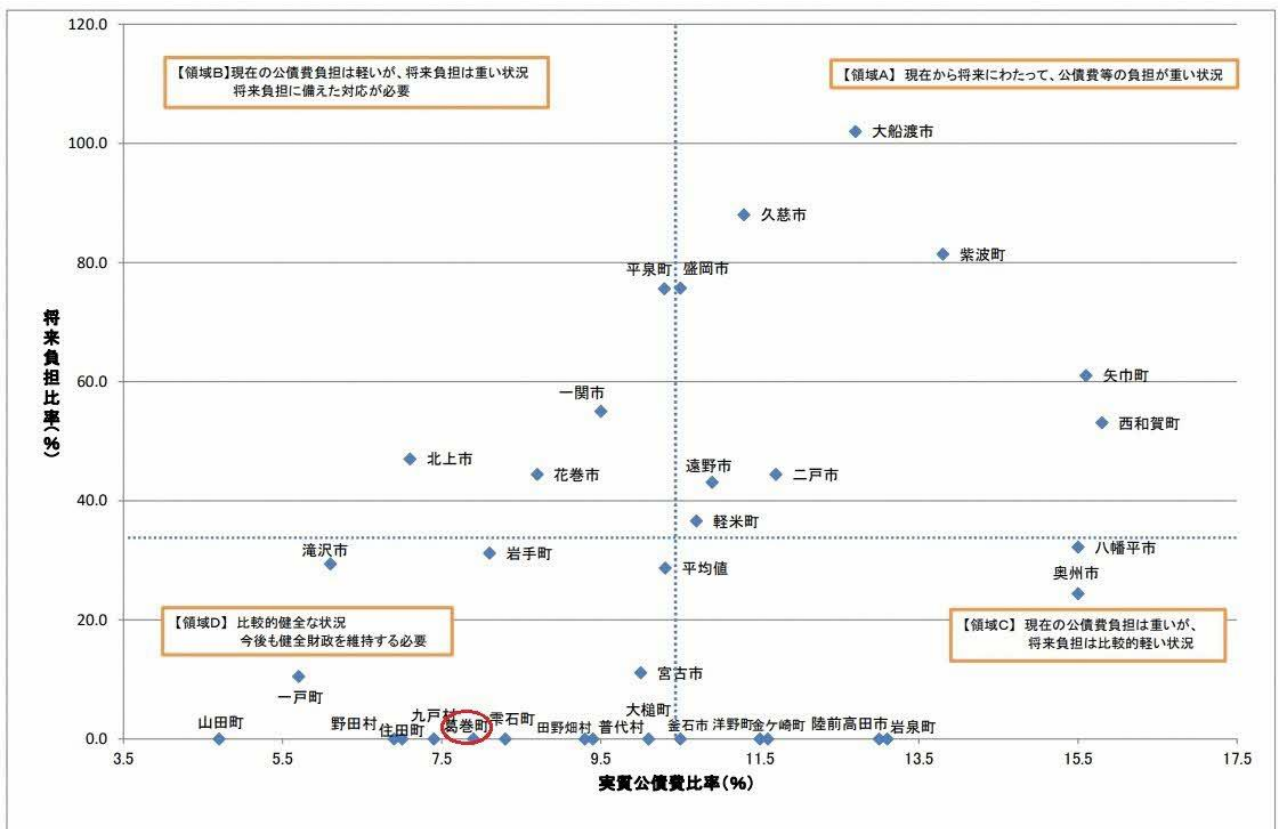
町の令和5年度の経常収支比率は、病院や消防組合に対する負担金の増額により89.0%となり、前年度と比較して9.0ポイント増加しています。



## ●令和5年度財政分析指標クロス表

市町村の財政運営が健全であるかを分析するために、令和5年度の実質公債費比率と将来負担比率を合わせて表にすると次のようになります。

当町は実質公債費比率、将来負担比率ともに低い「領域D」に分布しており、現状では比較的健全な財政状況であると言えます。



## ■一部事務組合及び第三セクターの状況（令和5年度）

### ●関係する一部事務組合等の財政状況

（単位：百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支
盛岡地区広域消防組合	7,296	7,095	201	82
盛岡北部行政事務組合	7,896	7,620	276	276
岩手県市町村総合事務組合	9,053	8,097	956	956
岩手県後期高齢者医療広域連合	167,500	163,903	3,597	3,597

（※財政状況資料集より）

形式収支・・・歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額

実質収支・・・形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

### ●第三セクター等の経営状況及び町の財政支援の状況

（単位：百万円）

	経常損益	純資産	町からの 出資金	町からの 補助金	町の損失 補償債務 残高
(一社)葛巻町畜産開発公社	3	609	189	29	104
(株)グリーンテージくずまき	2	45	20	2	-
(株)岩手くずまきワイン	2	242	75	4	35
葛巻町森林組合	2	130	27	1	100

（※財政状況資料集より）

経常損益・・・営業収益と営業外収益から、営業費用と営業外費用を差し引いた額

損失補償・・・第三セクターが金融機関から融資を受ける場合に、出資している地方公共団体が融資を行う金融機関と損失補償契約を結ぶこと

# 令和5年度 まちの財務書類

## ■地方公会計制度に基づく財務書類(一般会計分)

官庁会計決算を補完する資料として、複式簿記の考え方に基づく新公会計財務書類「①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書」を作成しています。

貸借対照表は、会計年度末時点における資産保有状況とその財源調達状況を、行政コスト計算書は、会計期間中の資産形成に結びつかない経常的な行政活動に係るコストを、純資産変動計算書は、貸借対照表に計上されている各項目が1年間でどのように変動したかを、資金収支計算書は、会計期間中の現金等の流れを表したものとなっています。

## ■貸借対照表 (BS)

貸借対照表は、会計年度末時点で住民サービスを提供するために所有する資産(土地、建物、基金など)がどれだけあり、その資産を形成するために今までどのような財源(負債、純資産)で賄ってきたのかを表す財務書類です。

### ●貸借対照表 (BS)

(単位：千円)

[資産の部]	令和5年度	令和4年度	差引増減	[負債の部]	令和5年度	令和4年度	差引増減
固定資産	25,935,962	25,642,768	293,194	固定負債	11,546,952	10,953,602	593,350
有形・無形固定資産	19,560,126	19,774,249	△ 214,123	(1)地方債	10,752,450	10,127,795	624,655
(1)土地	1,503,316	1,503,316	0	(2)退職手当引当金	794,502	825,807	△ 31,305
(2)立木竹	125,190	125,190	0	(3)その他	0	0	0
(3)建物	9,194,837	9,598,601	△ 403,764	流動負債	838,029	985,459	△ 147,430
(4)工作物	849,879	881,361	△ 31,482	(1)1年内償還予定 地方債	742,213	896,854	△ 154,641
(5)インフラ資産	7,103,151	7,263,250	△ 160,099	(2)未払金	0	0	0
(6)物品	276,067	315,170	△ 39,103	(3)賞与等引当金	59,008	53,395	5,613
(7)その他	507,686	87,361	420,325	(4)預り金	36,808	35,210	1,598
出資金・貸付金等	6,375,836	5,868,519	507,317	<b>負債合計</b>	<b>12,384,981</b>	<b>11,939,061</b>	<b>445,920</b>
(1)投資・出資・ 貸付金等	886,272	893,913	△ 7,641	<b>[純資産の部]</b>	<b>令和5年度</b>	<b>令和4年度</b>	<b>差引増減</b>
(2)基金	5,489,564	4,974,606	514,958	資産合計－負債合計	14,792,321	15,457,754	△ 665,433
①減債基金	1,376,639	912,154	464,485	＝純資産合計			
②特定目的基金	4,112,925	4,062,452	50,473				
流動資産	1,241,340	1,754,047	△ 512,707				
(1)現金預金	295,727	959,321	△ 663,594				
(2)未収金	7,018	6,138	880				
(3)財政調整基金	938,595	788,588	150,007				
<b>資産合計</b>	<b>27,177,302</b>	<b>27,396,815</b>	<b>△ 219,513</b>	<b>純資産合計</b>	<b>14,792,321</b>	<b>15,457,754</b>	<b>△ 665,433</b>

- 資産 = 将来の世代に引き継ぐ社会資本、債務返済の財源等
- 負債 = 将来の世代の負担となる債務
- 純資産 = これまでの世代の負担

町民一人当たり  
換算すると、次の  
通りになります



資産 507万円 (R4：495万円)	負債 231万円 (R4：216万円)
	純資産 276万円 (R4：279万円)

※葛巻町の人口 5,356人 (R6.3.31現在)

## ■行政コスト計算書

行政コスト計算書は、当該年度に行った行政活動のうち、ごみの収集や福祉サービスの提供といった資産の形成には結びつかない行政サービスに係る経費と財源のフローを表したものです。

行政コスト	65.1億円	収益	1.9億円
<b>人にかかるコスト</b>		<b>日常的に受ける収益</b>	
給与や退職引当、共済掛金等	9.6億円	使用料、手数料	0.6億円
<b>物にかかるコスト</b>		その他経常収益	1.3億円
消耗品、維持補修費、減価償却費等	28.3億円		
<b>移転支出コスト</b>		<b>臨時的に受ける収益</b>	
社会保障給付費や補助金など	22.9億円	引当金の取崩しなど	－億円
<b>その他のコスト</b>			
支払利息、火災保険料等	0.8億円	<b>純行政コスト</b>	<b>63.2億円</b>
臨時に係るコスト	3.5億円	不足する63.2億円は町税や地方交付税などの一般財源や、国・県補助金などで賄っています。	

## ■純資産変動計算書

貸借対照表上の「純資産」が1年間でどのように変動したのかを示すものです。

税収や国・県補助金、減価償却などにより、純資産がどのように増減したのかを表しています。

純資産合計	
期首純資産残高	154.6億円
純経常行政コスト	▲63.3億円
税収等	48.6億円
補助金等受入	8.0億円
その他	－億円
期末純資産残高	147.9億円

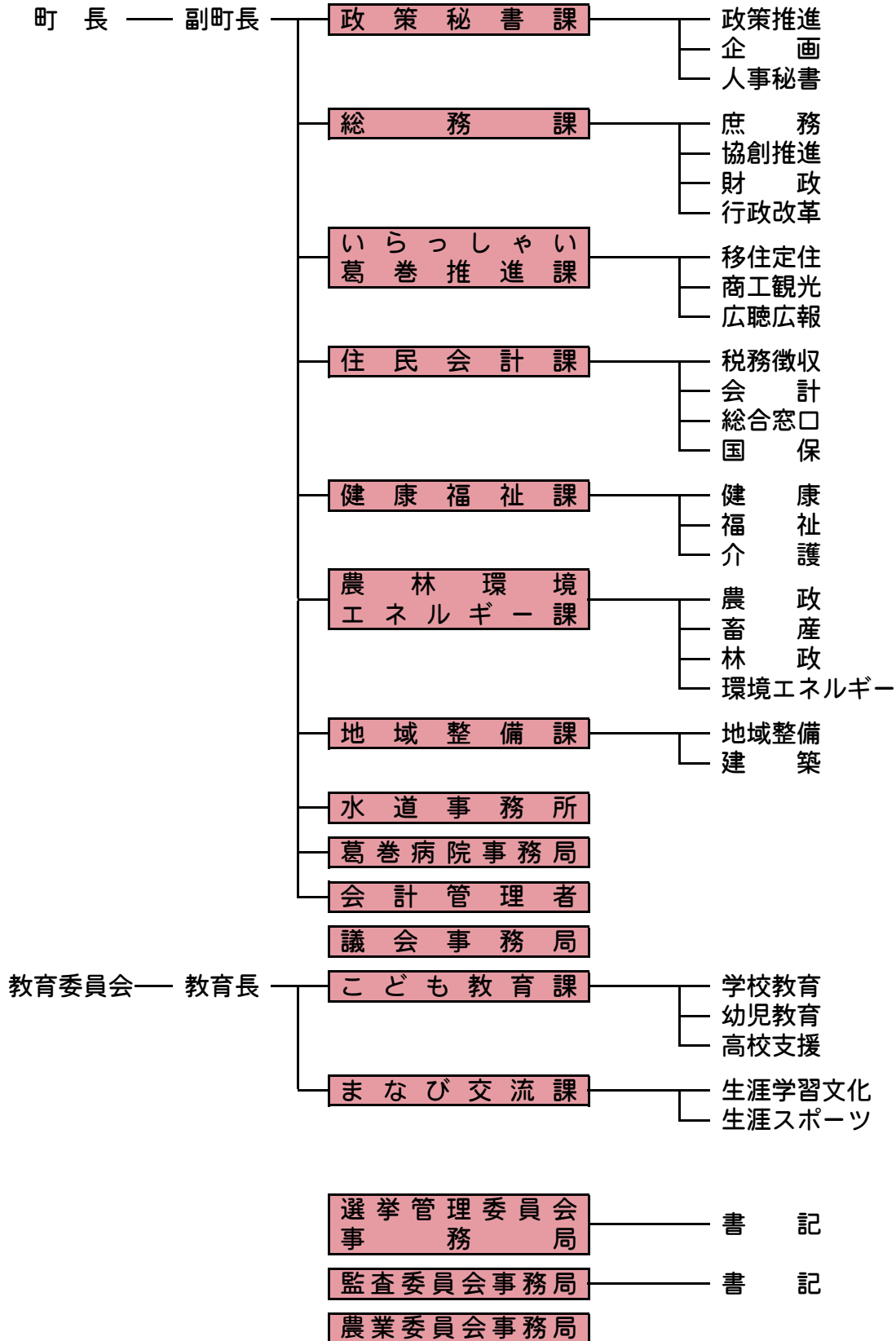
## ■資金収支計算書

資金収支計算書は、1年間の行政活動による現金預金の収入と支出を表す財務書類です。

<b>1 業務活動収支 A</b>	<b>3.4億円</b>
業務支出	51.2億円
業務収入	56.9億円
臨時支出	2.8億円
臨時収入	0.5億円
<b>2 投資活動収支 B</b>	<b>▲14.8億円</b>
投資活動支出	20.0億円
投資活動収入	5.2億円
<b>3 財務活動収支 C</b>	<b>4.7億円</b>
財務活動支出	8.5億円
財務活動収入	13.2億円
本年度資金収支額(A+B+C) D	▲6.7億円
前年度末資金残高 E	9.3億円
本年度末資金残高(D+E) F	2.6億円
本年度末歳計外現金残高 G	0.4億円
本年度末現金預金残高(F+G)	3.0億円

一般会計の財務書類のほか、町の特別会計・公営事業会計を加えた「全体財務書類」、一部事務組合や第三セクター等を加えた「連結財務書類」は、町ホームページで公表しています。

# 令和7年度 まちの 行政組織

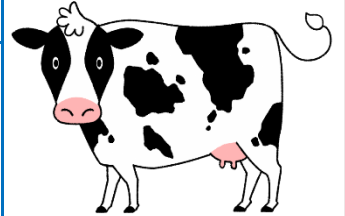


# 家畜の生活環境改善！

## 畜産暑熱対策事業

畜舎の暑熱対策に必要な設備の導入及び更新に係る費用に対し、最大で 100 万円の補助金が交付されます。

対象設備	補助金額	備考
①畜舎内に換気扇やミスト装置の設置 ②庇や寒冷紗などの遮光ネットの設置 ③屋根への断熱塗装、断熱材の設置 等	事業費の 1/2 (上限 100 万円)	当該年度につき 補助金の交付は 1 回のみ。

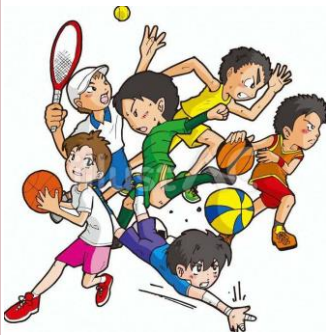


【詳しい事業のお問い合わせ先】 農林環境エネルギー課 TEL：0195-65-8984

# スポーツで交流人口の拡大！

## スポーツツーリズム奨励事業

スポーツ合宿に係る宿泊費やスポーツ大会などの運営経費に対して、最大で 16,500 円の補助金が交付されます。



対象者及び対象経費	補助金額
<b>【対象者】</b> 学生及び社会人が所属する 5 名以上のスポーツクラブ、団体及びサークル等の選手、指導者	○ 1 泊目：1,500 円 ○ 2 泊目：2,000 円 ○ 3 泊目：2,500 円 ○ 4 泊目：3,000 円 ○ 5 泊目：3,500 円 ○ 6 泊目：4,000 円
<b>【対象経費】</b> 町内の宿泊施設等を 1 泊以上利用して実施するスポーツ合宿及びスポーツ大会に要する宿泊料	※ 1 回の合宿で 1 人 16,500 円を上限とする。

【詳しい事業のお問い合わせ先】 まなび交流課 TEL：0195-65-8990

# お知らせします！ まちの行財政 2025

この予算書に関するご意見、お問い合わせは、葛巻町役場 総務課までお気軽にお寄せください。

TEL:0195-65-8982 FAX:0195-65-8995  
ホームページ <https://www.town.kuzumaki.lg.jp/>

※ この冊子の印刷費は、1 冊当たり約 202 円です。



スマホの方は  
こちらから